

学生の確保の見通し等を記載した書類

広島大学大学院
海洋・海事系実践科学研究所

学生の確保の見通し等を記載した書類

目 次

(1)	新設組織の概要	3
(2)	入学定員設定の考え方	3
(3)	人材需要の社会的な動向等	3
(4)	学生確保の見通し	4
(5)	想定される入学者の内訳	5

(1) 新設組織の概要

新設組織	入学定員	編入学定員	収容定員	所在地 (教育研究を行うキャンパス)
広島大学大学院海洋・ 海事系実践科学研究院	15	—	30	広島県呉市西中央 1-3-31 (呉キャンパス (整備中, 令和 9 年 10 月～)) 広島県東広島市鏡山 1-3-2 (東広島キャンパス) 広島県広島市中区東千田町 1-1- 89 (東千田キャンパス)

(2) 入学定員設定の考え方

スタート時における教育・研究環境施設の状況、本学の 3 研究科（人間社会科学研究科，先進理工系科学研究科，統合生命科学研究科）の兼務教員の人員配置（約 30 人）を踏まえ，定員 15 人とする。

(3) 人材需要の社会的な動向等

第 4 期海洋基本計画（令和 5 年 4 月 28 日閣議決定）では，大学等において各機関が有する特色を踏まえ，実践力強化のために産学連携を推進し，産業界のニーズ等に留意したカリキュラムの構築など，海洋開発の基盤となる人材や，デジタル・グリーン等の観点から海洋分野をけん引する高度専門人材の育成に関する取組を促進，さらに，将来にわたって，海洋に関する研究開発を推進し，海洋科学技術による経済・社会的課題の解決等を図るため，専門性と俯瞰力を持った海洋科学技術に携わる人材の質と層を向上させることが謳われている。

また，教育振興基本計画（令和 5 年 6 月 16 日閣議決定）では，Society 5.0（超スマート社会）等の社会変革に対応するため，社会的要請が高いデジタル，数理・データサイエンス・AI，ロボット，半導体等の分野における実践的・創造的技術者を養成することが求められている。このことを目指し，大学との共同教育プログラムの構築や，「社会実装教育」，「地域への貢献」，「国際化の推進」を軸に，各高等専門学校の強み・特色の伸長を図るなど，高等専門学校教育の高度化を推進するとされている。

こうした状況の中，日本全体では，海洋科学の人材（100 万人当たり）が世界で 20 位，研究開発総支出額に占める海洋科学への支出が 15 位（2020 年度版「世界の海洋科学の現状報告」国連・ユネスコ編）と，海洋に関する教育研究への投資が充実しているとは言い難い状況である。

過去 10 年程度で就職実績のある企業，機関，自治体等や海洋文化都市くれ推進協議会に参画している企業を対象にアンケートを実施（資料 1）（回答数 72 社・機関）したところ，「海洋・海事系実践科学研究院の修了者の採用についてどのようにお考えですか。」の質問に対して，23 社・機

関から「積極的に採用したい」との回答があった。そのうち、「海洋・海事系実践科学研究院の修了者を採用する場合、どの程度の規模感で採用を想定されますか。」の質問に対して、「毎年5人程度」が3社・機関、「毎年2人程度」が5社・機関、「毎年1人程度」が13社・機関から回答があり、年間の採用想定人数を合計すると、38人となった。

これらの結果から、海洋・海事系実践科学研究院に対する企業等からの期待は高く、修了者への社会的ニーズは充分に見込まれる。

(4) 学生確保の見通し

本学学部生、高等専門学校生、海外大学の学生対象にアンケートを実施（資料2）したところ、「海洋・海事系実践科学研究院が開設された場合、受験を希望しますか。」の質問に対して、「第一志望として受験する」を回答した者のうち、「海洋・海事系実践科学研究院を受験して合格した場合、入学を希望しますか。」の質問に対して「入学する」と回答した人数は、入学想定時期ごとにそれぞれ、令和9年10月入学17人、令和10年4月入学29人、令和10年10月入学22人となった。

次に、連係3研究科（人間社会科学研究科人文社会科学専攻、先進理工系科学研究科先進理工系科学専攻、統合生命科学研究科統合生命科学専攻）博士課程前期の過去5年間の入学志願状況等（資料3）について整理した。連係3研究科における入学定員の平均862人、志願者数の平均1,299人、志願倍率1.51、受験者数の平均1,257人、合格者数の平均1,051人、辞退者数の平均79人、入学者数の平均971人、歩留率0.92、定員超過率1.13となっている。これらの数値を、海洋・海事系実践科学研究院の修士課程における入学定員を15人として換算すると、志願者数23人、受験者数22人、合格者数18人、入学者数17人が見込まれる。

本学では、新たな大学間国際交流協定の締結、3+1プログラムの拡充など、積極的に外国人留学生の確保の取組を行っている。

新たな大学間国際交流協定の締結（令和3年度8件、令和4年度5件、令和5年度7件、令和6年度15件、令和7年度22件）により入学者増が見込まれることに加え、3+1プログラムの拡充により、同プログラム修了後の博士課程前期入学者が増加（令和3年度修了生で博士課程前期への入学者21人、令和4年度24人、令和5年度33人、令和6年度32人、令和7年度16人（令和7年度は令和7年10月入学のみ））している。

さらに、先進理工系科学研究科がすでに導入している広島大学・高専連携大学院進学制度（高等専門学校の教員と当該研究科の教員との間で行われる共同研究に参画する高等専門学校の優秀な専攻科生に対し、博士課程前期推薦入試の受験資格を与えるもの）を本研究院においても踏襲する。先進理工系科学研究科では継続的な入学者が見込まれることから、本研究院でも同様の効果が期待できる。

以上のように、大学院海洋・海事系実践科学研究院に対する学部生、高等専門学校生、海外大学の学生に対するアンケート結果、連係3研究科における博士課程前期の過去5年間の入学志願状況等から、海洋・海事系実践科学研究院に対する学部生、高等専門学校生、外国人留学生等からのニーズは十分にあることがわかり、入学定員15人は充足できる。

(5) 想定される入学者の内訳

学生確保の見通しを踏まえた、想定される入学者の内訳は、以下のとおりである。

- 本研究院の基礎となる7学部（総合科学部，法学部，経済学部，理学部，工学部，生物生産学部，情報科学部）から計7人
- 令和6年3月に締結した，5商船系高等専門学校及び海上保安大学校を含めた海洋・海事系教育研究機関7者による全国初の包括連携協定に基づき，連携・支援を開始した5商船高等専門学校の海洋・海事系専攻科（商船コース，機関コースなど）及びそれ以外の専攻科（流通，機械・電気系等のコースなど）並びに広島大学・高専連携大学院進学制度を構築している高等専門学校専攻科を中心とした高等専門学校専攻科の修了生から計4人
- すべて英語で展開される教育プログラムによる外国人留学生等（国費外国人留学生の優先配置を行う特別プログラムや国際協力機構（JICA）の人材育成奨学計画（JDS）を活用した留学生を含む。）から計4人
- その他，海上保安大学校の関係者（海上保安庁の職員を含む），令和6年1月に設立した「呉市・広島大学 Town & Gown 構想 海洋文化都市くれ推進協議会」（80団体超）に参画する企業団体（産学官金）のリスキリング・リカレント目的の社会人（モノづくり技術者，行政職員など），海洋・海事・造船系関連学部を含む全国の学部卒業生，国内外の海洋・海事实務経験者，海上保安大学校卒業生，商船高専及び海上保安大学校の教員で学位を有しない者などから若干名

資料目次

資料 1 企業，機関，自治体等に対するアンケート結果

資料 2 本学の学部生等に対するアンケート結果

資料 3 関係研究科博士課程前期の過去 5 年間の入学志願状況等

【企業、機関、自治体等対象】大学院海洋・海事系実践科学研究所(仮称)ニーズ調査

○調査実施期間:令和 7 年 11 月 15 日~12 月 9 日

○回答数:72 社・機関

		業種(総務省「日本標準産業分類」(令和5年7月告示)から回答者が選択)											
広島大学大学院海洋・海事系実践科学研究院(仮称)で修得させることを想定するコンピテンシー(知識・技術・能力など)を備え、修士の学位を取得した広島大学大学院海洋・海事系実践科学研究院(仮称)の修了者の採用についてどのようにお考えですか。		D. 建設業	E. 製造業	F. 電気・ガス・熱供給・水道業	G. 情報通信業	H. 運輸業、郵便業	I. 卸売業、小売業	J. 金融業、保険業	L. 学術研究、専門・技術サービス業	S. 公務(他に分類されるものを除く)	サービス(旅行)	複合サービス事業	総計
a) 積極的に採用したい (23社・機関)	毎年5人程度		2			1							3
	毎年2人程度	1	4										5
	毎年1人程度	1	5			1			5	1			13
	採用人数は、人材次第と見做す。								1				1
b) 採用を検討したい (35社・機関)	人員計画による		1										1
	毎年3人程度		1										1
	毎年2人程度		2		1								3
	毎年1人程度	3	14		1		2	1			1		22
	5~10年1名程度		1										1
	1人程度		1										1
	その時の状況、人材にもよる。		1						1				1
	学んだスキルをダイレクトに業務につなげるものではない。学生さんが是非●●●(回答企業名)と言って頂けるのであれば採用を考えたい。		1										1
	検討		1										1
	当社採用計画内の中で、当社の求める人材像に合致する場合は、特段人数を設けず採用したい。		1										1
c) 採用しようとは思わない (5社・機関)	特に人数は決めておりません		1										1
	年度ごとで異なるため不明					1			2				5
その他回答 (9社・機関)	年度により採用数は異なることに加え、出身大学のみを以て採用を行ってはいないものの、お示しいただいたコンピテンシーを持つ学生の採用は積極的に検討したい。								1				1
	IT・保険金融に興味のある人であれば採用したい					1							1
	現在では必要ですが将来については必要となる可能性はあります								1				1
	わからない			1									1
	現時点では不明								1				1
	現時点では履修されたことを活かせる事業でないため		1										1
	弊社には対応できる海洋・海事系の専門分野がない								1				1
	弊社は海洋関係の専門分野を所持していないので分からない		1										1
学んだ知識を直接活かせるかは少し難しいが、考え方や能力は評価できると考える。			1										1
総計		5	39	1	4	4	2	2	12	1	1	1	72

	(A)年間規模	(B)回答社・機関数	(C:A*B)採用想定人数	
a) 積極的に採用したい	5	3	15	38
	2	5	10	
	1	13	13	
b) 採用を検討したい	3	1	3	31
	2	3	6	
	1	22	22	

- (参考:アンケートの設問で示した「修得させることを想定するコンピテンシー」)
- 人文科学・社会科学・自然科学の共通基盤となる視点と方法論を理解し、海洋・海事に関わる専門家と協働して、国際平和・国際協調の重要性、さらには海洋の平和利用と持続的発展について説明・貢献できる能力。また、持続可能な発展を導く科学技術の社会実装などにより、国際社会の課題解決に取り組む能力。
 - ①海洋政策・海洋ガバナンス領域、②海洋利用技術領域、③海洋環境・海洋資源領域の3領域の基礎知識・理解と、いずれかの領域における、先進的で高度な研究力・応用力と高度専門技術。
 - 海洋・海事に関わる諸問題を発見・抽出し、それらの社会的・国際的課題の本質を理解したうえで、合理的に問題構成し、課題解決できる能力。特に、上述の3領域に対して、それらを包括的に融合・連携させる応用力と実践力、課題発見能力。加えて、領域①は人文科学・社会科学の視点で海洋政策・海洋ガバナンスの諸問題、領域②③は自然科学の視点で海洋利用技術や海洋環境・海洋資源の複雑な諸問題に対して、論理的かつ多角的にアプローチできる能力。
 - 国際関係および国際協調の重要性を理解し、海洋・海事分野と海の平和利用と持続的発展について、国際的・学際的な視点で国際的な課題を解決するための、英語によるコミュニケーション力・実行力・協働力。

資料2

【本学学部生対象】大学院海洋・海事系実践科学研究所(仮称)ニーズ調査

○調査実施期間:令和 7 年 11 月 15 日~12 月 9 日

○有効回答数:161

現在所属する学部及び学科	卒業見込「年」	卒業見込「月」	広島大学大学院 海洋・海事系実践科学研究所(仮称)(修士課程)が開設された場合、受験を希望するか。	広島大学大学院 海洋・海事系実践科学研究所(仮称)(修士課程)を受験した場合、入学を希望するか。	件数
総合科学部総合科学科(2名)	2028(令和10)年	3月	a)第一志望として受験する	入学する	1
			d)受験しない		1
法学部法学科(79名)	2028(令和10)年	3月	d)受験しない		79
経済学部経済学科(13名)	2028(令和10)年	3月	b)第二希望として受験する	入学する	1
			d)受験しない		12
理学部数学科(1名)	2028(令和10)年	3月	d)受験しない		1
理学部物理学科(2名)	2028(令和10)年	3月	d)受験しない		2
理学部化学科(3名)	2028(令和10)年	3月	c)第三希望として受験する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1
			d)受験しない		2
理学部生物科学科(6名)	2028(令和10)年	3月	a)第一志望として受験する	入学する	1
			c)第三希望として受験する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	2
			d)受験しない		3
理学部地球惑星システム学科(1名)	2028(令和10)年	3月	d)受験しない		1
工学部第一類(機械・輸送・材料・エネルギー系)(26名)	2028(令和10)年	3月	a)第一志望として受験する	入学する	3
			b)第二希望として受験する	入学する	1
			c)第三希望として受験する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	6
			d)受験しない		2
					14
工学部第二類(電気電子・システム情報系)(2名)	2028(令和10)年	3月	b)第二希望として受験する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1
			d)受験しない		1
工学部第三類(応用化学・生物工学・化学工学系)(5名)	2028(令和10)年	3月	a)第一志望として受験する	入学する	1
			d)受験しない		4
生物生産学部生物生産学科(14名)	2028(令和10)年	3月	a)第一志望として受験する	入学する	2
			b)第二希望として受験する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	4
			c)第三希望として受験する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1
			d)受験しない		7
情報科学部情報科学科(7名)	2028(令和10)年	3月	a)第一志望として受験する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1
			c)第三希望として受験する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1
			d)受験しない		5
総計161名					

	入学見込み者
令和9年10月入学	0
令和10年4月入学	9
令和10年10月入学	0

【高等専門学校(広島大学・高専連携大学院進学制度導入高専)生対象】大学院海洋・海事系実践科学研究所(仮称)ニーズ調査

○調査実施期間:令和7年11月15日~12月9日

○有効回答数:167

現在所属する課程及び年次	卒業見込「年」	卒業見込年「月」	広島大学大学院 海洋・海事系実践科学研究所（仮称）（修士課程）が開設された場合、受験を希望するか。	広島大学大学院 海洋・海事系実践科学研究所（仮称）（修士課程）を受験して合格した場合、入学を希望するか。	件数
専攻科1年生 (8名)	2027(令和9)年 (8名)	9月 (8名)	a)第一志望として受験する	入学する	1
			b)第二希望として受験する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	1
			d)受験しない		6
本科5年生 (159名)	2026(令和8)年 (159名)	3月 (89名)	a)第一志望として受験する	入学する	1
			b)第二希望として受験する	入学する	1
				志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5
			c)第三希望として受験する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	4
			d)受験しない		78
		9月 (70名)	a)第一志望として受験する	入学する	1
			b)第二希望として受験する	入学する	3
			d)受験しない		66
					総計167名

	入学見込み者
令和9年10月入学	1
令和10年4月入学	1
令和10年10月入学	1

【高等専門学校(広島大学・高専連携大学院進学制度導入高専以外)生対象】大学
院海洋・海事系実践科学研究院(仮称)ニーズ調査

○調査実施期間:令和 7 年 11 月 15 日~12 月 9 日

○有効回答数:82

現在所属する課程及び年次	卒業見込「年」	卒業見込年「月」	広島大学大学院 海洋・海事系実践科学研究院（仮称）（修士課程）が開設された場合、受験を希望するか。	広島大学大学院 海洋・海事系実践科学研究院（仮称）（修士課程）を受験して合格した場合、入学を希望するか。	件数
本科5年生 （82名）	2026（令和8）年 （82名）	3月 （82名）	a)第一志望として受験する	入学する	4
			b)第二希望として受験する	入学する	1
				志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する	5
				c)第三希望として受験する	志望順位が上位の他の志望校が不合格の場合に入学する
			d)受験しない		71
					総計82名

	入学見込み者
令和9年10月入学	0
令和10年4月入学	4
令和10年10月入学	0

【海外大学対象】大学院海洋・海事系実践科学研究所(仮称)ニーズ調査

○調査実施期間:令和 7 年 12 月 10 日~12 月 14 日

○有効回答数:167

卒業見込「年」	卒業見込年「月」	広島大学大学院 海洋・海事系 実践科学研究所(仮称)(修士 課程)が開設された場合、受験 を希望するか。	広島大学大学院 海洋・海事系実践科学研究所 (仮称)(修士課程)を受験して合格した場合、入 学を希望するか。	件数
2027(令和9)年 (54名)	September (54名)	a)I would apply as my first choice	I will enroll	16
			I will enroll only if I am not admitted to my higher-priority choices	5
		b)I would apply as my second choice	I will enroll	7
			I will enroll only if I am not admitted to my higher-priority choices	9
			I will not enroll	1
		c)I would apply as my third choice	I will enroll only if I am not admitted to my higher-priority choices	4
			I will not enroll	1
		d)I would not apply		11
2028(令和10)年 (113名)	March (35名)	a)I would apply as my first choice	I will enroll	15
			I will enroll only if I am not admitted to my higher-priority choices	3
		b)I would apply as my second choice	I will enroll	4
			I will enroll only if I am not admitted to my higher-priority choices	7
		c)I would apply as my third choice	I will enroll only if I am not admitted to my higher-priority choices	1
		d)I would not apply		5
	September (78名)	a)I would apply as my first choice	I will enroll	21
			I will enroll only if I am not admitted to my higher-priority choices	7
		b)I would apply as my second choice	I will enroll	10
			I will enroll only if I am not admitted to my higher-priority choices	19
			I will not enroll	1
		c)I would apply as my third choice	I will enroll	1
			I will enroll only if I am not admitted to my higher-priority choices	2
		d)I would not apply		17
			総計167名	

	入学見込み者
令和9年10月入学	16
令和10年4月入学	15
令和10年10月入学	21

資料3

関係研究科博士課程前期の過去5年間の入学志願状況等

			R3年度入学者	R4年度入学者	R5年度入学者	R6年度入学者	R7年度入学者	平 均
人間社会科学研究科	人文社会科学専攻	入学定員	257人	257人	242人	242人	242人	248人
		志願者数	367人	370人	348人	386人	380人	370人
		受験者数	350人	356人	338人	377人	371人	358人
		合格者数	236人	263人	232人	261人	259人	250人
		辞退者数	20人	23人	24人	31人	24人	24人
		入学者数	216人	240人	208人	230人	235人	226人
		志願倍率	1.43	1.44	1.44	1.60	1.57	1.49
		歩留率	0.92	0.91	0.90	0.88	0.91	0.90
		入学定員超過率	0.84	0.93	0.86	0.95	0.97	0.91
先進理工学研究科	先進理工学専攻	入学定員	449人	449人	436人	436人	470人	448人
		志願者数	713人	713人	662人	748人	755人	718人
		受験者数	684人	691人	634人	718人	729人	691人
		合格者数	590人	598人	558人	625人	621人	598人
		辞退者数	36人	39人	45人	41人	33人	39人
		入学者数	554人	559人	513人	584人	588人	560人
		志願倍率	1.59	1.59	1.52	1.72	1.61	1.60
		歩留率	0.94	0.93	0.92	0.93	0.95	0.93
		入学定員超過率	1.23	1.24	1.18	1.34	1.25	1.25
統合生命科学研究科	統合生命科学専攻	入学目安定員	170人	170人	164人	164人	164人	166人
		志願者数	188人	204人	220人	228人	213人	211人
		受験者数	187人	201人	215人	223人	210人	207人
		合格者数	184人	197人	212人	214人	204人	202人
		辞退者数	15人	12人	13人	21人	20人	16人
		入学者数	169人	185人	199人	193人	184人	186人
		志願倍率	1.11	1.20	1.34	1.39	1.30	1.27
		歩留率	0.92	0.94	0.94	0.90	0.90	0.92
		入学定員超過率	0.99	1.09	1.21	1.18	1.12	1.12
計		入学定員	876人	876人	842人	842人	876人	862人
		志願者数	1268人	1287人	1230人	1362人	1348人	1299人
		受験者数	1221人	1248人	1187人	1318人	1310人	1257人
		合格者数	1010人	1058人	1002人	1100人	1084人	1051人
		辞退者数	71人	74人	82人	93人	77人	79人
		入学者数	939人	984人	920人	1007人	1007人	971人
		志願倍率	1.45	1.47	1.46	1.62	1.54	1.51
		歩留率	0.93	0.93	0.92	0.92	0.93	0.92
		入学定員超過率	1.07	1.12	1.09	1.20	1.15	1.13